

国立大学法人 東京大学が発行するソーシャルボンド「東京大学 FSI 債」への投資について

メディケア生命保険株式会社（社長 野村洋一、以下「当社」という）は、2021年12月に国立大学法人東京大学が発行する「ソーシャルボンド」への投資を行いました。

「ソーシャルボンド」とは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

東京大学は、国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最高水準の研究を追求・発信しています。本債券への投資資金は FSI^{注1)} 事業に充当され、東京大学の行動方針である「UTokyo Compass」に示された、世界最高水準の教育・研究を目指す総合大学として、知の接続機能を持つ拠点としての役割を果たすための先端的研究施設設備の整備や、未来を築く卓越した人材を輩出し、全ての構成員が安心して活動できる多様性と包摂性を合わせ持った「誰もが来くなる大学」にふさわしいキャンパス整備を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

本債券への投資は、「すべての人々へ質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs^{注2)}）の達成に貢献します。とりわけ、東京大学は FSI 事業として、SDGs の達成に資する様々な研究教育プロジェクトを推進しており、地球と人類社会の未来への貢献に向けた協創を効果的に推進することを目指していると理解しております。

2021年11月、本債券発行のための枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則 2021 に適合する旨、日本格付研究所（JCR）から Social 1（F）を取得しています。

当社は、経営理念として生命保険事業を通じて豊かな社会の創造と発展に貢献することを掲げており、資産運用においては、国連が提唱した持続可能な開発目標「SDGs」も意識しつつ、運用収益の向上に取り組んでおります。本債券への投資はこのような枠組みの一環として、社会貢献に資するものと考えています。今後も持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上・確保に取り組んでまいります。

<本債券の概要>

発行体：国立大学法人東京大学（R&I 格付：AA+、JCR 格付：AAA）

発行額：総額 100 億円

年限：40 年

注1） FSI（Future Society Initiative:未来社会協創）とは、教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること

注2） 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上

本件に関するお問い合わせ先

メディケア生命保険株式会社 経営管理部

TEL：03-5621-3367